鎌ヶ谷ブランドの専門店

来月 新鎌ヶ谷駅前にオープン

鎌ヶ谷市産の特産品や農産物などを販売するアンテナショップ「鎌ヶ谷ブランド館」が10月1日、私鉄3線が乗り入れる新鎌ヶ谷駅前の複合商業施設にオープンする。地元商店主らでつくる新鎌ヶ谷ふれあい街づくり協同組合（井手勝則代表理事）が「線路が成田空港につながっている地の利を生かして、世界に向けて鎌ヶ谷のブランド力を高めよう」と企画した。

ブランド館は、駅前にある「アクロスモール新鎌ヶ谷」1階に常設する。売り場面積は約44平方㍍で、食酢や中華まんじゅう、乾麺、ケチャップ、ソース、自家焙煎コーヒー豆といった地元企業のオリジナル商品のほか、梨やジャムなどの農産物や加工品も販売する。

商品には市花の「梨の花」があしらわれた認定シールを貼り、鎌ヶ谷ブランドをアピールする。地元企業や生産農家、客の反応を見ながら扱う商品も増やしていく予定だ。観光・産業情報などの提供も計画している。

「鎌ヶ谷ブランド館」が入る複合商業施設（鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷で）

市によると、新鎌ヶ谷駅の乗降客数は1日約9万3000人（2012年度）。07年度を約1万3000人上回るなど、増加傾向が続いている。

井手代表理事は「鎌ヶ谷の食の魅力を中心に取りそろえるので、ぜひ足を運んでほしい」と呼び掛けている。営業時間は午前10時（1日は11時）～午後7時。問い合わせは事務局のイデカフェ本社（047・401・6718）へ。

2014年9月25日(木)
読売新聞

2014年10月4日(土)
読売新聞

鎌ヶ谷ブランド発信
新鎌ヶ谷駅前に開店

鎌ヶ谷市の特産品などを販売するアンテナショップ「鎌ヶ谷ブランド館」（福嶋幹彦館長）が1日、私鉄3線が乗り入れる新鎌ヶ谷駅前の「アクロスモール新鎌ヶ谷店」1階にオープンした＝写真＝。

記念式典には清水聖士市長ら約20人が出席し、特産品をアピールする拠点の誕生を祝った。約44平方㍍の店内には、地元企業のオリジナル製品の食酢やトマトケチャップ、ソース、乾麺類、梨ワインケーキ、せっけんなどのほか、梨や新米といった農産物を含む計約200品目が並び、大勢の市民らでにぎわった。

営業時間は午前10時～午後7時。定休日は原則月曜日。問い合わせは同ブランド館（047・498・9988）へ。

施設

鎌ケ谷の名産品がいっぱい

アンテナショップ
鎌ケ谷ブランド館 10月1日オープン！

昨年6月の設立以来、地域の「にぎわい創出」をテーマに、各種イベントの実施などで地元企業をサポートしてきた新鎌ケ谷ふれあい街づくり協同組合。このほど物販面で鎌ケ谷産品をPRしていこうと、かねてから計画していた待望のアンテナショップがオープンしました。

「コンセプトは鎌ケ谷ブランドの育成です」と語るのは、同組合代表理事で株式会社イデカフェ代表取締役社長の井手勝則氏。「4路線が乗り入れアクセス便利な新鎌ケ谷駅は、1日の乗降客9万3千人を誇りますが、乗換駅のため降りる人は少ない。新鎌ケ谷を大手施設や地元商店が共存共栄する、例えば東京郊外の町田のような魅力的な街に育て、人の流れを呼び込みたいと考えています。市内に点在する企業の商品をここに集約、お薦め品を認定し、鎌ケ谷ブランドを発信していく予定です」

同館には地元産品や会員企業の商品が並ぶ他、市内で行われるイベントなどのお知らせも掲示。地域の情報ステーションとしても大いに期待されている。（R）

あいさつをする井手代表理事

初日、多くの人出でにぎわう